

【活動事例の紹介】

教室名	めぬまっ子スクール
-----	-----------

取組内容

(1) 実施内容

- ① 8月6日（土）開校式、夏祭り（1・4・6年）
- ② 9月17日（土）秋祭り（2・4・6年）
- ③ 10月29日（土）～10月30日（日）防災キャンプ（3・4・5・6年）

(2) 事前準備

- ・実施の4週間前に参加申込書付きの参加募集要項を配付。児童の参加募集とともに、保護者のボランティアの募集をした。
- ・ボランティアの参加が決定したら、打合せ会を開催し、役割分担、進行等を決めた。
- ・打合せ会で決定した活動がスムーズに進むように必要なものを準備した。



① 夏祭り

(3) 当日の様子（主なもの）

- ・夏祭りでは66名の参加があった。コロナ禍の中、当初の日程をずらし衛生面で配慮の行き届いた場所（お菓子屋さん）で「紙芝居」「金魚すくい」等の活動を行った。
- ・秋祭りでは、43名の参加があった。異学年グループを編成し、「焼きそば」「フランクフルト」「玉入れ」「かき氷」「グラウンドゴルフ」を順番に回った。高学年がリーダーシップを発揮していた。
- ・防災キャンプでは、76名の参加があった。一日目はカレー作りやキャンプファイヤー、防犯教室（ビデオ視聴）、防犯パトロールを行った。火の怖さを学ぶとともに火の恩恵についても感じることもできた。二日目は、聖天様への参拝をした。朝の冷たい空気の中で凜とたたずむわが町が誇る建物の魅力にふれることができた。

工夫した点・ポイント

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象学年を減らしたり、内容を検討したりして取り組んだ。
- ・高学年から低学年まで楽しめるように過去に好評だった食べ物を取り扱う活動内容を充実させた。
- ・コロナ禍の中でも（防災食等の）調理体験ができるようにいくつかの活動内容を組み合わせてグループごとにローテーションさせた。
- ・防災キャンプの際に、サプライズで運営委員の方による花火の打ち上げがあったりと、運営委員の方が主体的に関わってくださる。
- ・わが町の誇る建物や食材を活動に織り込み、子どもたちが地元のよさを感じられることを意識した。



② 秋祭り

成果・今後の展望

- ・保護者ボランティアの方の協力があり、活動を行うことができた。
- ・運営委員が主となり、「おやじの会」「PTA地区理事」、その他の地域団体とをつなぐことで、地域全体で子どもたちを育てていくという雰囲気を作っていきたい。



③ 防災キャンプ